



**シラバス参照**

タイトル「2018年度シラバス」、フォルダ「経済経営学類」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	教養演習 I		
担当教員	<a href="#">根建 晶寛</a>		
対象学年	1年,2年,3年,4年	クラス	経:K
講義室			
開講学期	前期		
曜日・時限	木3	単位区分	必修
授業形態	演習	単位数	2
準備事項			
備考			
ナンバリング			
授業概要とねらい	<p>大学ではいったい何を学ぶのでしょうか。自分なりの答えを真剣に追求していくのが、意義深い学生生活といえます。私の教養演習では、学生生活をどのように過ごすか、学生さんに気づいてもらえるようにさまざまなトピック・材料を取り扱います。調査・分析の方法、プレゼンテーションスキル、新聞記事の読み方から将来的キャリアを築いていく際に必要な点までを伝え、メンバーで多角的に検討します。世の現象は、めまぐるしく変わっております。大きな志をもち、時勢の動きに柔軟に対応し、常識を疑うことの大切さを理解できる人材の育成を目指します。</p>		
望ましい水準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各回の講義に積極的に参加して、自分の意見を述べるができる。</li> <li>2. 自ら調査すべき課題を設定し、問題に対して適切な調査・分析の方法を選択・構築できる。</li> <li>3. 新聞記事など、世の中で起こっていることに興味や関心をもつことができる。</li> <li>4. 周囲の人間を尊重し、多様な価値観を想像、受容することができる。</li> <li>5. 大きな志をもち、将来的に産業界で活躍していく気概をもつことができる。</li> </ol>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. はじめてレポートを書く人のために</li> <li>3. 建設的なテキストの読み方とは～テキスト批評を題材として～</li> <li>4. レポート・論文の執筆要件～最低限おさえておくべき原則について～</li> <li>5. 分析対象テーマと問題設定、本文全体の構成、脚注の付け方</li> <li>6. 新聞記事の読み方を学ぶ</li> <li>7. 孫子の兵法について学ぶ～歴史的に活躍したリーダーはどうやって組織を統率したか～</li> <li>8. プレゼンテーションスキルを学ぶ①～将来的に描くキャリアについて発表する～</li> <li>9. プレゼンテーションスキルを学ぶ②～内容は各自の自由～</li> <li>10. 経営について記事と漫画を題材に学ぶ：ディスカッション①</li> <li>11. グローバル化について考える：ディスカッション②</li> <li>12. 地域について学ぶ：ディスカッション③</li> <li>13. 過去と現在の音楽について学ぶ～どのような音楽が心地よく聞けるか～：ディスカッション④</li> <li>14. 人生について考える～みなさんは何を考えて生きていくか～</li> <li>15. 今後の学生生活に向けて</li> </ol> <p>(注)上記の各題目は受講生と相談して適宜変更となる可能性はあります。昨年度はみんなで合唱をしたり、夏休みには泊まりがけのキャンプに行ったりもしました。明るく前向きに活動する意欲のある学生の応募を心待ちにしております。</p> <p>上級生から非常に充実していた、よく学べた、楽しかったと大変評価の高い演習だそうです。昨年度もサークルなどの先輩に薦められて入ってきた学生さんが物凄く多人数いました。ご興味があれば、ぜひ門をたたいてみてください。きっと、大きく学生生活が変わるはずですよ。</p>		
教材・教科書	河野 哲也『レポート・論文の書き方入門』第3版、慶応義塾大学出版会、2012年 許 成準『超訳 孫子の兵法』彩図社文庫、2017年 原作 吉野 源三郎、漫画 羽賀 翔一『君たちはどう生きるか』、マガジンハウス、2017年		
参考図書	演習・オフィスアワー時にご質問頂ければ適宜紹介します。時折、新聞記事などを配布予定です。		
参考URL	特になし。		

授業以外の学習	時折、個人課題及びグループのプレゼンテーション課題を与えますので、資料収集、事前の打ち合わせなどが必要になります。また、平日頃、興味ある雑誌記事や新聞記事の情報収集を行うことを意識しながら進むと良いでしょう。
成績評価の方法	教養演習への出席状況、個人及びチーム課題における報告、講義内のディスカッション、周囲のメンバーに対する協調性や気遣いを考慮し、総合的に判断いたします。
成績評価の基準	A. 望ましい水準の全てを満たしている。 B. 望ましい水準の4つ以上を満たしている。 C. 望ましい水準の3つ以上を満たしている。 D. 望ましい水準のほとんどを満たしていないが、今後変わろうとする意欲を持っている。 F. 上記に該当せず、教養演習への出席が劣悪な人(1/3以上の欠席が該当)。自分の報告日に無断欠席した人はFとします。
オフィスアワー	講義後に適宜対応します。もしくは、事前にメールを頂ければ予定調整いたします。
留意点・注意事項	講義の大まかな内容に変更はありませんが、状況に応じて、順番を入れ替える可能性はあります。
その他	・福島近辺の企業見学を予定  この教養演習では、日帰りか1泊の学外研修を行う予定です(授業日と重ならない土日など学生さんと相談して日にちを決定した上で実施する予定です)。開催地は福島県近辺の予定です。具体的な詳細事項は教養演習が始まってから決定する予定です。
カリキュラムにおける当該科目の位置付け1	幅広い教養／多角的・総合的思考(幅広い教養1)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け2	自己形成力／自己学習力(自己形成力1)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け3	自己形成力／キャリアデザイン力(自己形成力3)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け4	自己形成力／関係形成力(自己形成力4)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け5	経済経営学類のディプロマポリシー／客観的に観察・分析し、論理的に思考する力(経済経営学類Ⅱ)
カリキュラムにおける当該科目の位置付け6	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け7	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け8	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け9	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け10	
カリキュラムにおける当該科目の位置付け他	

